



令和元年ローカルサミット NEXT in 南砺

日時 2019年

10月26日(土)・27日(日)

場所

城端別院 善徳寺 じょうはな座

主催/令和元年ローカルサミットNEXT in南砺実行委員会 共催/南砺幸せ未来基金、なんと未来支援センター、場所文化フォーラム 後援/南砺市

令和元年ローカルサミットNEXT in 南砺

開催趣旨

地方の時代が来たといわれた平成の時代は、東京を中心とした一極集中が是正されることはなく、むしろ都市と地方の格差が顕著となり、地域の独自性を失い、結果としてこれまで経験したことがない人口減少社会という時代へ突入してしまいました。

2019年は令和という新しい時代の幕開けと共に、これまで「誰かがなんとかしてくれるだろう」「行政が何かをしてくれる」「世界で起きていることは私に関係ない」という考えではなく、今を生きる私たちが、未来を生きる次世代のために確かな土台をつくらなければなりません。

今、南砺市や全国でその危機感を肌で感じ、自ら動きだす志民が生まれ始めています。地域の力を今一度見つめなおし、その足元をかため私たちの生活環境を豊かなものとし、その地域の人たちが自分たちの力で立ち上がり、地方に光をあて、明るい未来にむけて歩みを進めていく機会が必要です。幸い南砺市には、先人が培ってきた土徳の心や文化、深い信仰心、合力の精神、という地域の地力を持っています。それは南砺の雄大な自然資源が培った偉大なる生命の力の表しであると言えます。目の前の利益や損得勘定が優先されてしまう従来の常識ではなく、このローカルサミットに集う全国の同志と力を合わせ、グローバル資本主義に飲み込まれることがない「新たな常識」をつくりあげ、文化継承を軸とした日本の誇るべき「一流の田舎」の再興をめざしていきたいと思います。

令和元年ローカルサミットNEXTin南砺実行委員長 島田優平

平成時代から、令和元年に入りました。平成は、グローバル化が進み、グローバルマネーが暴走し、地球規模での環境破壊と格差社会を生み出しました。日本でも、昭和時代からの経済優先とグローバル追随の政策運営が続き、いのちと暮らしの現場であるローカルと自然の疲弊が進んでしまいました。

そうした中、私たちはグローバル資本主義が行き詰まりを現わした2008年以降、毎年、全国各地でローカルサミットを開催し、我々が目指すべき「環境・生命文明社会」構築へのデッサンを描いてきました。確かな未来は懐かしい過去にあり、お金に代わるいのちの物差しを携え、人と人、人と自然、過去と未来の確かな関係を取り戻さなくてはならない、地域の自立・循環を地域資源の再生と共に進めよう、地域づくりの主役は次世代である、等々のメッセージを発信してきました。

令和という新たな時代の幕開けと共に、ローカルと若者を主役にした、新たな暮らし方を実装していくNEXTステージをスタートさせましょう。「一流の田舎」を目指す南砺において、全国の志民と共に、確かな未来を創り出す大きなステップを歩み出しましょう。

ローカルサミット事務総長 吉澤保幸

スケジュール

10月26日(土) 善徳寺

- 11時 JR城端駅集合
- 11時～12時30分 エコビレッジ事業概要見学
- 12時30分～13時15分 昼食 (南砺市クリエイタープラザ 桜クリエ)
- 13時30分～ 受付 (善徳寺)
- 14時～16時 南砺の取り組み紹介と基調講演 (30分×3人)
南砺市 (エコビレッジ構想+基金+未来支援センター他)
太田浩史 (大福寺住職) (折り・美・暮らし)
中井徳太郎 (環境省統括官) (地域循環共生圏とSDGS)、
南砺の若者・志民の未来構想
- 16時～18時 分科会 (5～6のテーマを予定)
- 18時30分～20時30分 大懇親会 (善徳寺)
- 20時30分～21時 宿舍チェックイン等
- 21時～ 2次会

10月27日(日) じょうはな座

- 9時～10時 分科会報告等
- 10時～11時45分 大討論会
(域外有識者、域内志民)

会費(予定)

域外参加者は10,000円 (宿泊代は個人負担)
域内参加者は5,000円

参加申込み

参加申込み開始は7月末以降にHP等でお知らせします。

お問い合わせ

南砺市エコビレッジ推進課

〒932-0292 富山県南砺市井波520
Tel 0763-23-2050/Fax 0763-82-5101